

キャタピラー

適用範囲		モデル名	D2			
		仕様	LGP			
		適用号機	XKR00001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体 【電子制御式】	エンジン回転速度	min ⁻¹	2100		
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	950		
		ローアイドルリング	min ⁻¹	—		
		トルコンストール状態 (冷却水温)	(°C)	(70~80)		
		(作動油温)	(°C)	(80~90)		
		エンジン油圧	kgf/cm ² KPa	375~ (60~70)		
		(油温)	(°C)	(1800-2400)		
		(回転速度)	(min ⁻¹)			
		弁すき間	mm	0		
		吸気弁 隙間	mm	0		
排気弁 隙間 (測定条件)		(冷間時)				
圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 (冷却水温)	kgf/cm ² KPa	350 (—)				
(回転速度)	(min ⁻¹)	(—)				
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ²	設定なし			
		KPa	(コモンレール)			
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	設定なし			
	[測定位置・条件]	[N]	(自動張り調整)			
	[kgとNの両方で表記]					
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	c m	—		
		ペダルの遊びとストローク	c m	—		
		ペダルの全ストローク	c m	—		
	走行ミックス油圧ポンプ	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa	—	
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa	—	
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	kg/cm ²	—	
			ミッション潤滑油圧	KPa	—	
			クラッチ油圧	kg/cm ²	—	
			(ミッション油温)	(°C)	—	
			(エンジン回転速度)	(min ⁻¹)	—	
プロベラーシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kg・m	—			
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク	c m	—		
		レバーの全ストローク	c m	—		
	ステアリングクラッチ油圧	MPa	—			
	(油温)	kg/cm ²	—			
	(回転速度)	(°C) (r p m)				

キャタピラー

適用範囲		モデル名	D2				
		仕様	LGP				
		適用号機	XKR00001~				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
走行装置	クローラベルト	ベ ル ト	張り(たわみ量)	mm	—		
			測定方法・条件 (図面番号表示)				
		鉄 シ ユ ー	張り(たわみ量)	mm	図1参照		
			リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—		
	履板取付ボルト 締付けトルク	N・m kg・m	170±40 180±5°増し締め				
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力	床面勾配 1/5以上	—			
作業装置	シリンダー自然伸縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	17mm/5分 地面から254mm		
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	33mm/5分 チルト左一杯		
			リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	6mm/5分 地面から254mm		
			リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—		
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—		
	作業機速度	ドーザー・ショベル	ブルドーザー	(作動油温)	(°C)	—	
				リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.2±0.3秒 地面~最大	
				リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	1.3±0.2秒 地面~最大	
				リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	
				(作動油温)	(°C)	—	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	kg/cm ² MPa	20.6±0.9 (38~65)			
備考							

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
<p>図 1. 履帯調整方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2. バルブ・カバーを取外す。（図は開けた状態） 3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 <p>トラックを緩める場合、リリーフ・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリーフ・バルブ（2）を閉めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. バルブ・カバーを閉じる。 6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。 <div data-bbox="353 483 728 726" style="text-align: center;"> </div>